

再生可能エネルギー新時代における水力開発セミナー（第4回）

－ 環境に調和し地域に貢献するこれからの小水力開発について考える －

趣 旨： 川が多く、水と地形に恵まれた日本の豊かな小水力エネルギーを、環境に調和し地域に貢献するように地域が主体となって本格活用するために何が必要かについて考える。このため、長野県飯田市における再エネ利用に関する革新的な環境条例、かつての日本や現在の欧州ドイツ語圏における水力利用を踏まえたエネルギーの地域自治を目指した取り組み、および群馬県の町役場と専門家、建設会社等が協力した地域に貢献する小水力開発の取り組み事例を紹介し、日本の貴重な資源、地域の共有財産である小水力を総合的に活用するための小水力開発推進策について会場全体で議論する。

日 時： 令和5年5月24日（水）
セミナー 13:00～17:00 （受付 12:15～12:55）
終了後、会場内で懇親会（飲み物、軽食 17:10～18:20 事前の参加希望者で実施）

場 所： 立命館大学 東京キャンパス 第4・第5教室
（サピアタワー8F：JR東京駅八重洲北口または地下鉄東西線大手町駅徒歩5分）
<http://www.ritsumei.ac.jp/tokyocampus/access/>

主 催： NPO法人水力開発研究所（略称：HDRI）と地域が主体となった環境調和型水力開発研究会（立命館大学総合科学技術研究機構）の共催

プログラム：

- (1) 開会あいさつ、NPO法人水力開発研究所の活動状況について（井上素行、HDRI 代表理事）
- (2) 「エネルギー自治」を志向する飯田市の環境エネルギー政策（田中克己氏、長野県飯田市ゼロカーボンシティ担当参事（担当部長））
- (3) エネルギーの地域自治の取り組み（手塚智子氏、市民エネルギーとっとり代表）
- (4) みんなで造る小水力発電所（吉川聡氏、元NPO法人環境技術研究所、現在は群馬県地球温暖化防止センター）
- (5) 総合討議（参加者からのショートプレゼンテーション、コメント、議論など）
- (6) 閉会あいさつ（吉岡一郎、HDRI 理事）

講演題目は仮タイトル。講演毎に質疑を行います。

参加・申込み：

定員 85名 参加には事前の申し込みが必要です。定員になり次第締め切ります。

申し込み方法 Google アンケートフォーム <https://forms.gle/ni5uajbYFPKv7URv7> に、氏名、メールアドレス、所属、懇親会の参加有無を記入して申し込んでください。

参加費 セミナーは無料、
懇親会参加者は、飲み物・つまみ代 1,000円を、当日、受付でお支払いください。
参加申し込みの締め切り日：令和5年5月20日（土）

問い合わせ先： NPO法人水力開発研究所 宮永、吉岡
E-mail：seminar@hdri.jp

グラハム・ベル（科学者・発明家、電話の発明など）の予言

「日本を訪れて気がついたのは、川が多く、水資源に恵まれているということ。
電気をエネルギー源とした・・・大きな成長を遂げる可能性がある。」明治31年



出典：LRI,
<http://www.lri.co.jp/>
ナショナル・ジオグラフィックが見た日本の1882年

日本列島の気象と地形、そして水力は日本の宝

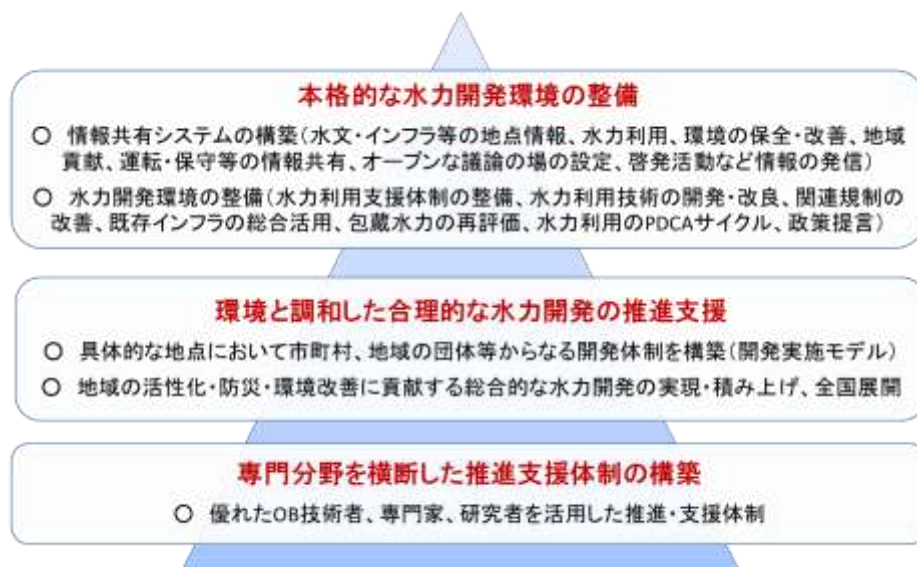
世界と日本の水力ポテンシャル

単位：TWh (=10⁹kWh)

地域	① 理論包蔵水力	② 包蔵水力	②/① 包蔵水力の割合	③ 既開発水力 (工事中を含まず)
アジア	16,285	5,526	34%	729
アフリカ	3,884	1,852	48%	84
北米	6,701	2,733	41%	628
中南米	8,474	3,315	39%	644
欧州	2,650	1,044	39%	540
ロシア	2,295	1,670	73%	165
中東	418	168	40%	17
オセアニア	495	189	38%	40
計	41,202	16,497	40%	2,847
日本	718	139	19%	92

(参考) 年間電力消費量 世界：17600TWh 日本：1000TWh
日本は小さな島国であるが、非常に広大な国土面積を有するがオセアニア地域全体よりも水力エネルギーが豊か 出典：世界エネルギー白書 2007 Survey of Energy Source

HDRIの活動：環境にやさしく地域に永続的に貢献する水力開発の実現を推進することで、人と自然の調和がとれた環境社会づくりに寄与することを目的とします。



地域が主体となった総合的な水力開発の推進・支援体制の構築